

管理栄養士雇用の
やました歯科医院

「地域の健康ステーション」目指す



2階のキッズスペース付きのスタッフ休憩室で、山下氏(左)と長迫氏(右)に見せる半紙の文字は、各スタッフの今年の目標

「食」に関して患者さんからよく聞かれるのは、「通院先でどうして欲しいと言われた」という押し付け感を持った内容のものが多いので患者さんとの会話では「食に関する希望を聞きながら、健康の価値を改めて知ってもらいたい」、「より健康になるには何かが必要か」という視点でお話しします。トレーニングや検査なども提案し、希望

した患者さんには取り組めるものから始めていただくので、私達は健康になりたいという患者さんの意思をサポートするのが役目です。「もぐもぐ日記」は、口腔機能低下症対策のための「OSP(オーラル・サポート・プログラム)」で紹介しています。OSPは、私達のチームが独自に考案したものです。患者さんとの会話で例えば「食事のペースがゆっくりだと、口内乾燥がひどい」という声かけを聞かされたら、「口内乾燥低下症」の症状の一つでもあると冊子などを通じて知ってもらった上で、口の衰えの度合いを評価する「口腔機能精密検査」や食習慣を振り返ることができる「もぐもぐ日記」を紹介しています。ちなみに当院では栄養チームで検査をし、保険算定をしています。

休時間には、食や栄養学に関する知識を共有していただける場面もあるので、例えば患者さんの「爪が白い」という身体からのサインを、他のスタッフも気付けるようになり、患者さんへの接し方の幅が広がっています。とはいえ当院は歯科医院ですので、栄養士にも歯科について知って欲しいので、入社1年目は歯科の知識を学んでもらいます。今は彼女達が得意とする栄養指導の他に患者さんが自由に持ち帰ることができる「健康レシピ」のメニューの考案からチラシ作りに加え、歯や身体に関する院内掲示物の作成も担っています。



もぐもぐ日記の画像イメージ。スマートフォンで食事を撮影するだけで、食事バランスや必要な噛む回数をAIが自動で判定

「食育・栄養指導に力を入れたら、感染対策を発端とした予防が世間一般に認知され始めています。その頃ウェブで面談した名古屋市のかすみ・おしむら歯科・矯正歯科口腔機能クリニック院長の押村憲昭先生から、歯科の次世代ニーズの一つとも言われる「食育・栄養指導や高齢者リハビリへの歯科の関わり方」とその先の構想を聞いた時、全身の健康管理を行う歯科医院の具体的な取り組みを知ることができました。父の死から食事管理の大切さを身に染みて感じていたので、その後迎えたコロナ禍では、

「食事のペースがゆっくりだと、口内乾燥がひどい」という声かけを聞かされたら、「口内乾燥低下症」の症状の一つでもあると冊子などを通じて知ってもらった上で、口の衰えの度合いを評価する「口腔機能精密検査」や食習慣を振り返ることができる「もぐもぐ日記」を紹介しています。ちなみに当院では栄養チームで検査をし、保険算定をしています。

休時間には、食や栄養学に関する知識を共有していただける場面もあるので、例えば患者さんの「爪が白い」という身体からのサインを、他のスタッフも気付けるようになり、患者さんへの接し方の幅が広がっています。とはいえ当院は歯科医院ですので、栄養士にも歯科について知って欲しいので、入社1年目は歯科の知識を学んでもらいます。今は彼女達が得意とする栄養指導の他に患者さんが自由に持ち帰ることができる「健康レシピ」のメニューの考案からチラシ作りに加え、歯や身体に関する院内掲示物の作成も担っています。

「食育・栄養指導に力を入れたら、感染対策を発端とした予防が世間一般に認知され始めています。その頃ウェブで面談した名古屋市のかすみ・おしむら歯科・矯正歯科口腔機能クリニック院長の押村憲昭先生から、歯科の次世代ニーズの一つとも言われる「食育・栄養指導や高齢者リハビリへの歯科の関わり方」とその先の構想を聞いた時、全身の健康管理を行う歯科医院の具体的な取り組みを知ることができました。父の死から食事管理の大切さを身に染みて感じていたので、その後迎えたコロナ禍では、

休時間には、食や栄養学に関する知識を共有していただける場面もあるので、例えば患者さんの「爪が白い」という身体からのサインを、他のスタッフも気付けるようになり、患者さんへの接し方の幅が広がっています。とはいえ当院は歯科医院ですので、栄養士にも歯科について知って欲しいので、入社1年目は歯科の知識を学んでもらいます。今は彼女達が得意とする栄養指導の他に患者さんが自由に持ち帰ることができる「健康レシピ」のメニューの考案からチラシ作りに加え、歯や身体に関する院内掲示物の作成も担っています。

休時間には、食や栄養学に関する知識を共有していただける場面もあるので、例えば患者さんの「爪が白い」という身体からのサインを、他のスタッフも気付けるようになり、患者さんへの接し方の幅が広がっています。とはいえ当院は歯科医院ですので、栄養士にも歯科について知って欲しいので、入社1年目は歯科の知識を学んでもらいます。今は彼女達が得意とする栄養指導の他に患者さんが自由に持ち帰ることができる「健康レシピ」のメニューの考案からチラシ作りに加え、歯や身体に関する院内掲示物の作成も担っています。

口と全身の健康をサポートする「地域の健康ステーション」を目指し、計7人の管理栄養士・栄養士を雇用して、食育・栄養指導、医科歯科連携などに力を入れているのがやました歯科医院(相模原市)院長の山下宗氏。そのために取り入れているものの一つが、森永乳業クリニコ(本社・東京都目黒区、遠藤悟社長)の食事記録をクラウド化してモニタリングするアプリ「もぐもぐ日記」という。山下氏に食育・栄養指導に力を入れることになったきっかけや院内での栄養士の役割、管理栄養士の長迫美祐希氏に、もぐもぐ日記の具体的な活用方法を聞いた。



受付フロア内に設置された血圧測定器と栄養士考案の持ち帰れるレシピ

1階受付フロア前の口腔ケアスペース。ガラス張りのため外からも見える

2階の小児矯正ゾーン。「トレーニング(筋機能訓練)」の改善に栄養士もサポート役を担う時もあるという

食育・栄養指導に注力

歯科 × 食 一人ひとりの食習慣へのアプローチをお考えの先生に

お食事相談サポートシステム
もぐもぐ日記

いつでも
“食べる”を楽しむ

アプリ「もぐもぐ日記」での食事きろくをモニタリング。
歯科医院でのお食事相談をサポートします。

主要栄養成分を手軽においしく補給

糖質の種類と量に配慮して栄養補給できる

クリミール Fiber+

十分な栄養が摂れない方
● 食欲のない方
● 食事が食べられない方
● 毎日の手軽な栄養補給に

1パック 125ml 当たり			
エネルギー	たんぱく質	食物繊維	乳酸菌
200kcal	7.5g	2.5g	100億個配合